

教育ICTソリューション導入事例

各地教育委員会や私立学校の導入事例をご紹介します



富山県氷見市教育委員会 様

全小中学校に電子黒板とタブレットPCを整備

映像や音声の活用で「発表する力」や「考える力」が向上

xSync

xSync Board

富山県氷見市教育委員会では、2009年度に電子黒板を比美乃江小学校へ導入したのを皮切りに、ICT教育の推進に力を入れ、2017年度にはすべての小中学校の全クラスに電子黒板を配置。タブレットPCもすべての小中学校に1クラス分を配置するなど、富山県内トップの整備率を誇っている。映像や音声を活用した授業を通じ、子供たちの学習意欲も向上。発表する機会や他者の意見に触れる機会が増え、コミュニケーション能力向上の効果も上がっている。



長野県喬木村教育委員会 様

市内の2つの小学校を遠隔合同授業で連携

全校児童48名の小規模校統廃合を回避

xSync Prime

喬木村の遠隔合同授業の取り組みは、村長の熱い想いからスタートした。小規模校である喬木第二小学校と、適正規模校である喬木第一小学校は、地形的に分断されている。喬木第二小学校は本来であれば統合対象となる規模である。しかし、地域の活力としての学校を存続させるため、文部科学省の実証事業に参画し、先進的なICT活用による遠隔合同授業を実現することで、学校統廃合を行わない道を切り開いた。



千葉県松戸市教育委員会 様

電子黒板と実物投影機の組み合わせで

先生の業務負担を低減しながら効果的な授業を実現

xSync Board

千葉県の松戸市教育委員会では、市内の小中高校の普通教室への電子黒板の導入を積極的に行い、教育現場におけるICT環境整備を進めている。実物投影機を使って教科書や副教材、プリントなどを電子黒板に拡大表示することで、児童にとっては「何のどこを見ればいいのか」が明確になり、先生にとっては拡大用の教材を用意する手間がなくなるといった効果も上げている。



LCA国際小学校 様

デジタル英語教材の「リズムカルな音声」と「映像」が

電子黒板のタッチパネル操作により児童の集中力を向上

xSync Board

LCA国際小学校では、日本語を使わない英語の授業を1年生から実践している。外国人教師も積極的に登用しバイリンガルの育成を行っており、授業で活用されているのが、独自のデジタル英語教材「メトロラーニング」だ。メトロノームのリズムにあわせて、子どもたちが体を動かしながら英語を楽しんでいる背景には、画面へのタッチで操作できる電子黒板「xSync Board」の存在がある。

ELMOロゴは、株式会社エルモ社の登録商標です。その他の名称や製品名は各社の登録商標または商標です。
[xSync]は、株式会社エルモ社の有する電子黒板と協働学習支援システム事業および商品における登録商標です。

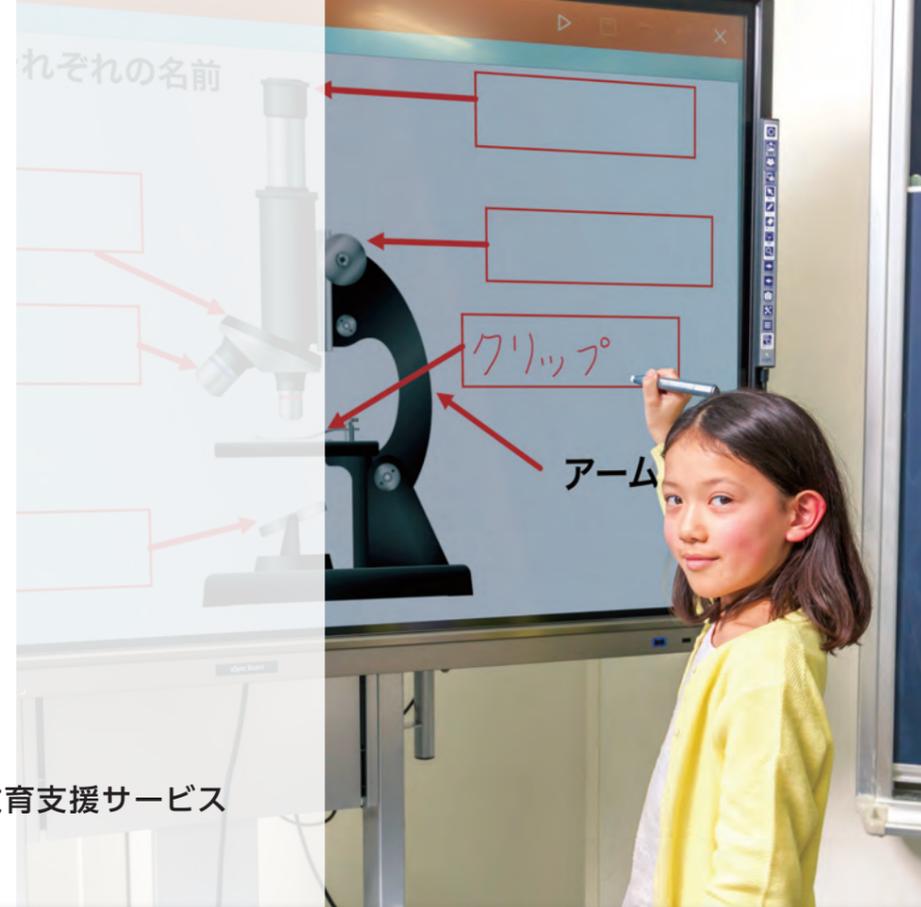


株式会社エルモ社

〒457-0078 名古屋市南区塩屋町1丁目3番地4号

<https://www.elmo.co.jp/>

- 東日本営業部
 - 東日本営業所
 - 札幌オフィス 〒060-0908 北海道札幌市東区北8条東3丁目1-1 宮村ビル3階 TEL: 011-594-8450 FAX: 011-594-8451
 - 仙台オフィス 〒980-0802 仙台市青葉区二日町13-18 ステーションプラザビル6階 TEL: 022-266-3255 FAX: 022-266-3253
 - 首都圏営業所 〒108-0075 東京都港区港南二丁目16番4号 品川グランドセントラルタワー17階 TEL: 03-3471-4577 FAX: 03-3471-4433
- 西日本営業部
 - 中部営業所
 - 名古屋オフィス 〒457-0078 名古屋市南区塩屋町1丁目3番地4号 TEL: 052-811-5261 FAX: 052-811-5142
 - 京都オフィス 〒604-8101 京都市中京区柳馬場通御池下る柳八幡町65 京都朝日ビル10階 TEL: 075-744-1360 FAX: 075-744-1361
 - 関西営業所
 - 大阪オフィス 〒550-0002 大阪府大阪市西区江戸堀1-9-6 肥後橋ユニオンビル10階 TEL: 06-6443-6001 FAX: 06-6443-6006
 - 神戸オフィス 〒550-0002 大阪府大阪市西区江戸堀1-9-6 肥後橋ユニオンビル10階 TEL: 06-6443-6001 FAX: 06-6443-6006
 - 広島オフィス 〒730-0012 広島市中区上八丁堀4-1 アーバンビューグランドタワー1104 TEL: 082-221-2801 FAX: 082-221-2802
 - 九州営業所
 - 福岡オフィス 〒812-0039 福岡市博多区冷泉町2番8号 朝日プラザ低層2階 TEL: 092-281-4131 FAX: 092-281-4133
 - 熊本オフィス 〒862-0976 熊本県熊本市中央区九品寺1丁目11番4号 熊本県教育会館4階 TEL: 096-282-8338 FAX: 096-282-8337



電子黒板・授業支援ソフト・遠隔教育支援サービス
教育の情報化をサポート

ELMO xSync 教育ICTソリューション

2020年版



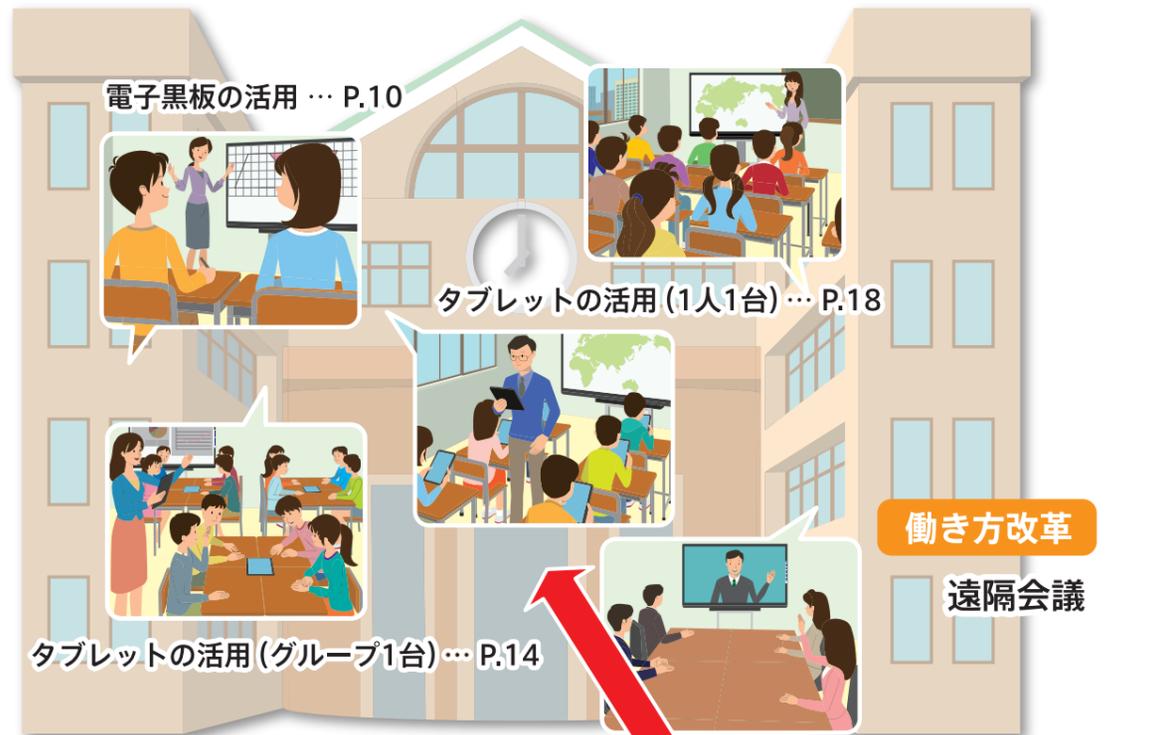
撮影協力：青山学院初等部 様

教育ICTソリューション

xSync(バイシンク)の教育ICTソリューションは、
教育の情報化への支援から学んだノウハウを生かした製品・サービスだけでなく、
既存環境にも柔軟に対応できるソリューションを提案いたします。

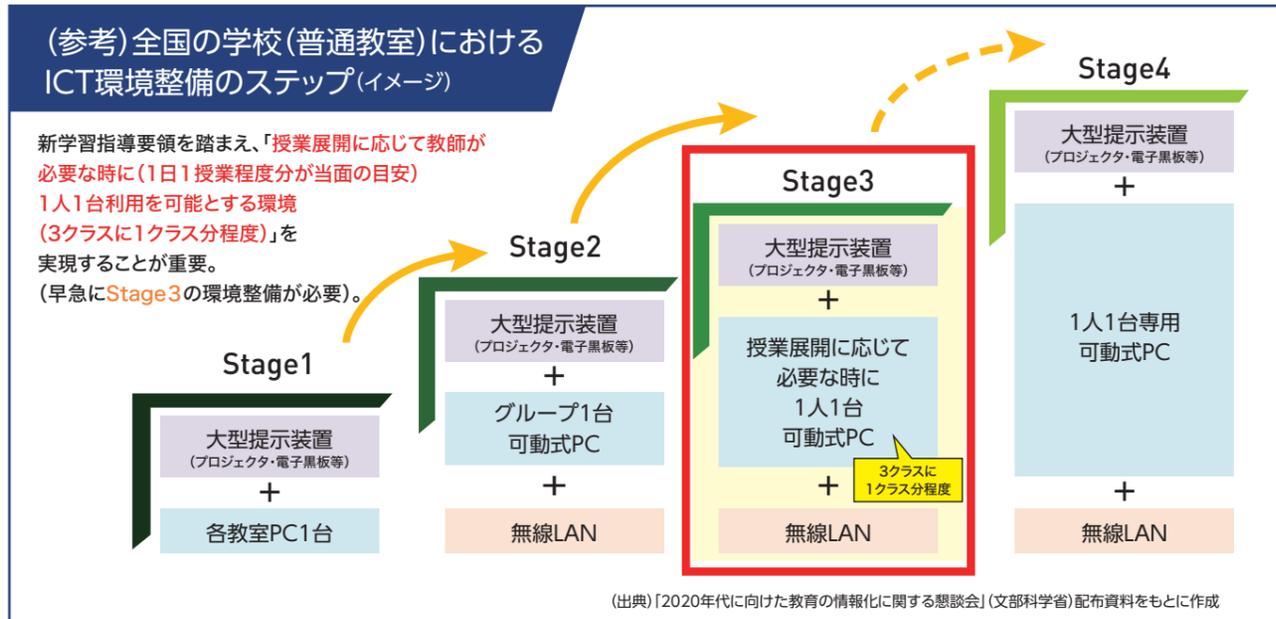


一体型電子黒板	バイシンク ボード xSync Board
授業支援ソフト	バイシンク クラスルーム xSync Classroom
遠隔教育支援サービス	バイシンク プライムアカデミック xSync Prime Academic

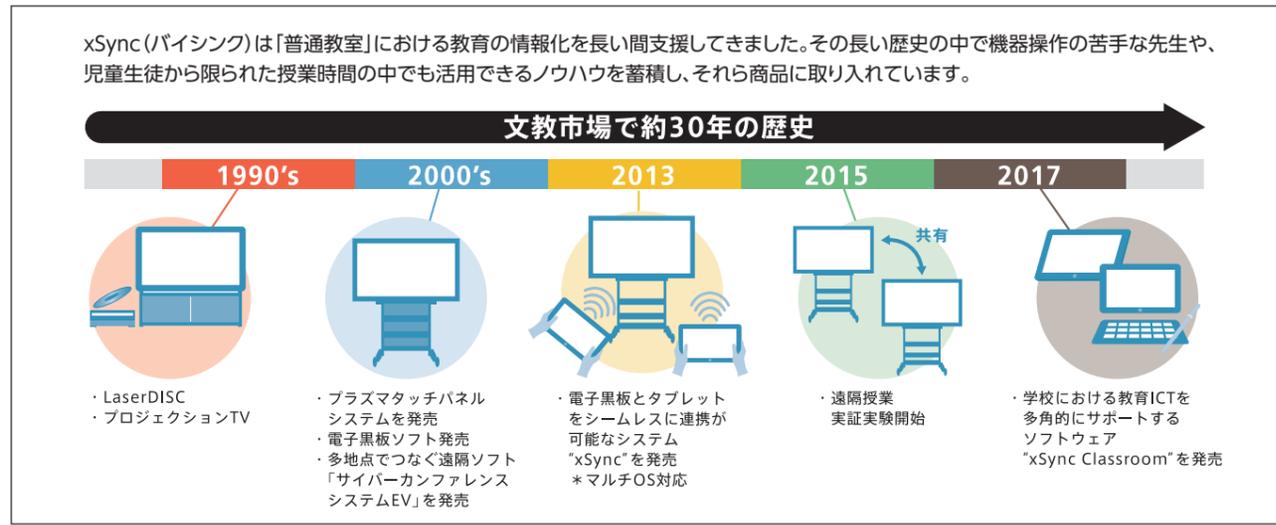


- すぐに使えるシンプル UIP.4
- ディスプレイ & スタンド
選べるラインナップ
ラインナップをみる P.6
- PC レス活用
PC レス活用についてみる P.7
- 気づきを促す比較機能
比較機能を授業例でみる P.12, 16
- サーバレスによる高速転送
高速転送による配信・回収機能を
授業例でみる P.17

- 遠隔教育支援システム** 多様な活用法
- 外国語活動やプログラミング教育 P.24
 - 校長会、教育センターの研修 P.25
 - ICT支援員によるサポート P.26
 - 災害時の情報共有 P.27



- 2018年度以降の学校におけるICT環境の整備方針で目標とされている水準
- 学習用コンピュータ.....3クラスに1クラス分程度整備
 - 指導者用コンピュータ.....授業を担当する教師1人1台
 - 大型提示装置・実物投影機.....100%整備 各普通教室1台、特別教室用として6台
 - 超高速インターネットおよび無線LAN.....100%整備
 - ICT支援員.....4校に1人配置
- (実物投影機は、整備実態を踏まえ小学校および特別支援学校に整備)



「主体的・対話的で深い学び」の実現を支援

コンセプト1 だれでも使えるシンプルデザイン

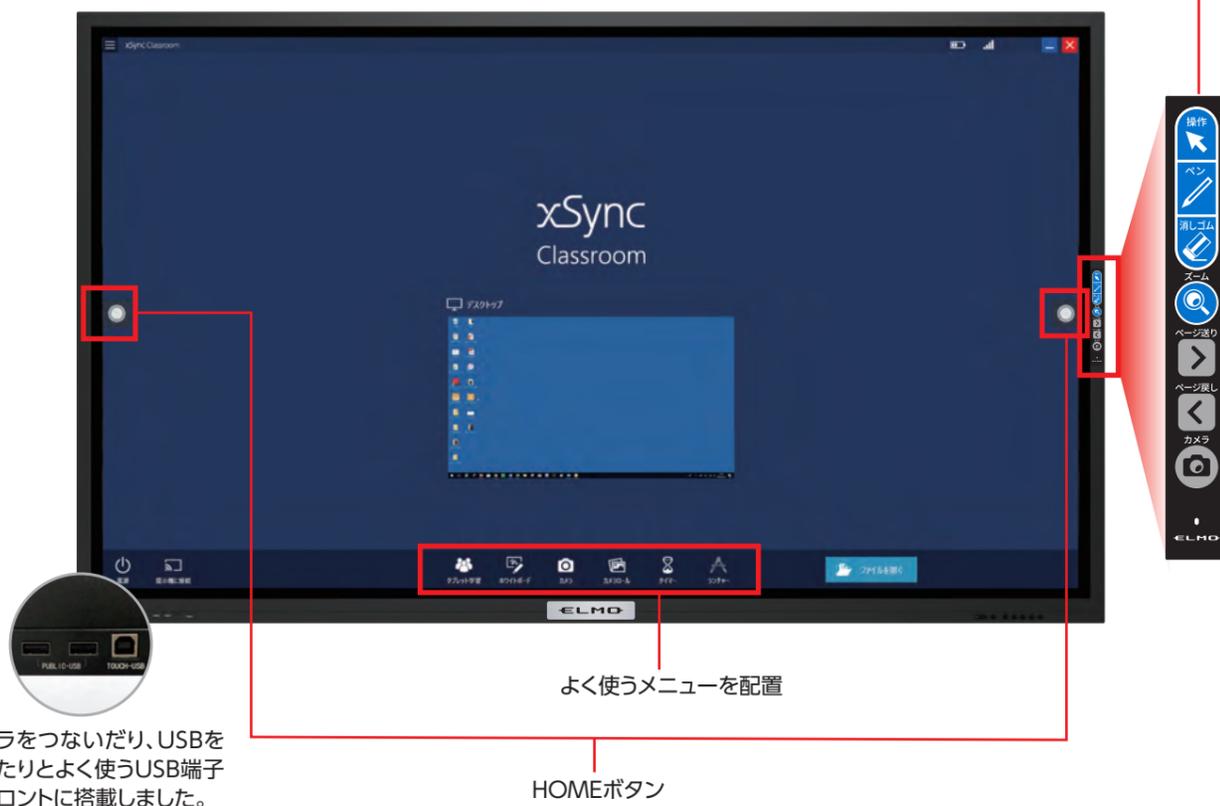
一体型電子黒板 ハイシンク ボード
xSync Board

どんなアプリを使っているときでも画面から消えることのない安心の操作ボタン(イージーコントローラー)を搭載。各ボタンには日本語で機能が表記されており、初めて利用する場合でも一目でわかるようになっています。

授業支援ソフト ハイシンク クラスルーム
xSync Classroom

スマートフォンを意識した「HOMEボタン」設置、よく使うボタンはいつでも使える定位置に置いたシンプルデザインを採用。

イージーコントローラー



よく使うメニューを配置

HOMEボタン



遠隔教育支援サービス ハイシンク プライムアカデミック
xSync Prime Academic

1ボタンで誰でも簡単に接続先へ画面共有ができ、双方向に書き込み等もできます。

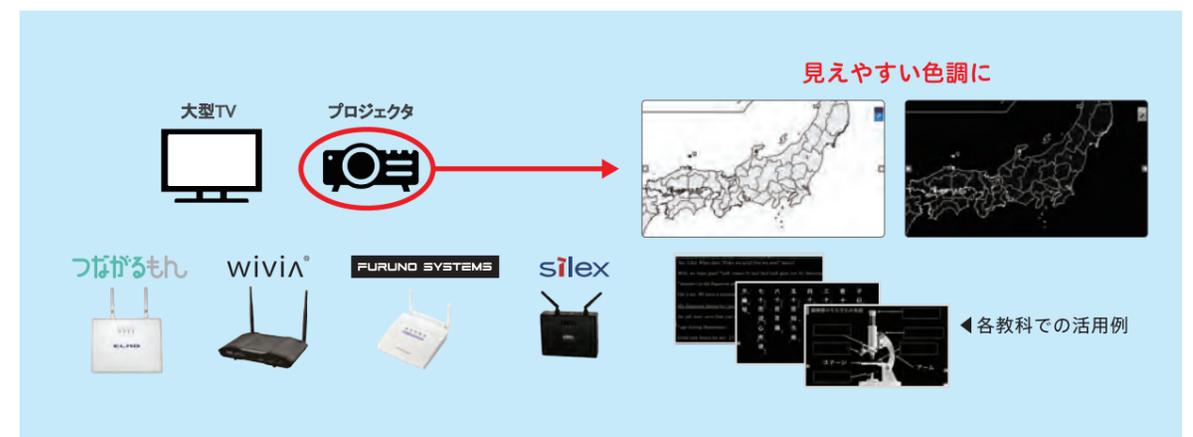
コンセプト2 他社製品との連携

「xSync Board」と「xSync Classroom」は、実物投影機と連携することができ(*1) ボタン一つで簡単に呼び出すことができます。また、デジタル教科書や他のアプリ、HP もすぐアクセス可能で授業時の円滑なICT活用を支援します。



コンセプト3 既設 ICT 機器の活用

既に整備されている大型TVやプロジェクタによる活用も支援します。プロジェクタを黒板に投影した際見えやすくする機能を搭載しております。また、下記各社の画面転送装置に対応しております(*2)。さらに、Windows PCとiPadにも対応しているため既存端末も有効に活用可能です(*3)。



*1. 連携対応機種は弊社へお問い合わせください。

*2. 最新の対応状況につきまして、は弊社へお問い合わせください。

*3. iOS は児童生徒端末のみです。

一体型電子黒板

xSync Board

バイシンク

xSync Board (バイシンク ボード) は、各教室に合わせて選べる豊富なラインナップをご用意しています。また、機器操作の苦手な先生でも安心して活用できる、操作性にこだわったイーजीコントローラーが特長の1つです。



55型から86型まで

豊富なラインナップ

選べるキャリアブルスタンド

高さ調整できる様々なスタンドを準備。教室間の移動・安全性を考慮した奥行800mm以下のスタンドをご用意しています。また、オプションで、周辺機器を収納できるBOXもご用意しています。



簡単活用

忠実な色彩の再現

フラットパネルディスプレイのため明るい場所でも見えやすく、教室を暗くする必要がありません。授業の流れを止めることなく利用できます。

物理操作ボタンで直感的で簡単な操作

授業で使用頻度の高い機能を厳選してボタン化したコントローラーにより簡単に操作できます。

実物投影機との連携・比較

子どもたちのノートやワークシートを実物投影機で投影して撮影した後、簡単に比較したり、自在に大きさを変更したりすることができます。



PCレスでの活用



すぐに利用できるホワイトボード機能

xSync Board本体にホワイトボードが標準搭載されているため、パソコンやタブレット等の各種端末を起動せずにすぐに利用でき、教室内でのICT活用シーンが広がります。

便利な端子と簡単入力切替

xSync Boardには便利な端子が用意されており、PC画面以外にも例えばデジタルビデオカメラ等も提示できます。また、入力切替はリモコンまたはスワイプから簡単にでき、端子の表示名を任意の名称に変更することもできます。



■ プロジェクタタイプ

型番	価格
CLS-PRJ3506	オープン価格
CBS-PJ82ECL	

上記商品はxSync Classroom指導者用ライセンス1 (型番: PXL-CLS-SVSN) を含むセット商品です。

■ オプション

型番	商品名称	備考	価格
T-K5331-B2	収納BOX(木製)	標準スタンド	オープン価格
T-K5331-B3	収納BOX(スチール製)	標準スタンド	
T-K5331-T1	増設用棚板	標準スタンド	
T-K3730	書画カメラ	-	オープン価格
T-K65ANT	アンテナユニット	CBS-SHC65H6CL / CBS-SHC65V6CL / CBS-SHC65H7CL / CBS-SHC65V7CL専用	

■ ディスプレー一体型タイプ

インチ	型番(標準スタンドモデル)	型番(昇降スタンドモデル)	PCレス対応	TVチューナー内蔵	Bluetooth対応	価格
55	CBS-LCT55H6CL	CBS-LCT55V6CL	●	-	-	オープン価格
55	CBS-LCT55H6CL-T	CBS-LCT55V6CL-T	●	●	-	
55	CBS-ELM55S7CL	CBS-ELM55F7CL	●	-	●	
55	CBS-LCT55H7CL	CBS-LCT55V7CL	●	-	-	
55	CBS-LCT55H7CL-T	CBS-LCT55V7CL-T	●	●	-	
60	CBS-SHC60H6CL	CBS-SHC60V6CL	-	-	-	
65	CBS-SHC65H6CL	CBS-SHC65V6CL	▲(*)	-	-	
65	CBS-LCT65H6CL	CBS-LCT65V6CL	●	-	-	
65	CBS-LCT65H6CL-T	CBS-LCT65V6CL-T	●	●	-	
65	CBS-ELM65S7CL	CBS-ELM65F7CL	●	-	●	
65	CBS-SHC65H7CL	CBS-SHC65V7CL	▲(*)	-	-	
65	CBS-LCT65H7CL	CBS-LCT65V7CL	●	-	-	
65	CBS-LCT65H7CL-T	CBS-LCT65V7CL-T	●	●	-	
70	CBS-SHC70H6CL	CBS-SHC70V6CL	-	-	-	
75	CBS-LCT75H6CL	CBS-LCT75V6CL	●	-	-	
75	CBS-LCT75H6CL-T	CBS-LCT75V6CL-T	●	●	-	
75	CBS-ELM75S7CL	CBS-ELM75F7CL	●	-	●	
75	CBS-LCT75H7CL	CBS-LCT75V7CL	●	-	-	
75	CBS-LCT75H7CL-T	CBS-LCT75V7CL-T	●	●	-	
86	CBS-ELM86S7CL	CBS-ELM86F7CL	●	-	●	
86	CBS-LCT86H7CL	CBS-LCT86V7CL	●	-	-	
86	CBS-LCT86H7CL-T	CBS-LCT86V7CL-T	●	●	-	

上記商品はイーजीコントローラー、xSync Classroom指導者用ライセンス1 (型番: PXL-CLS-SVSN) を含むセット商品です。

*オプションでT-K65ANTが必要となります。

CBS-LCT55H6CL/CBS-LCT55H6CL-T/CBS-LCT55V6CL/CBS-LCT55V6CL-T/CBS-SHC60H6CL/CBS-SHC60V6CL/CBS-SHC70H6CL/CBS-SHC70V6CL / CBS-LCT75H6CL/CBS-LCT75H6CL-T/CBS-LCT75V6CL/CBS-LCT75V6CL-Tは在庫限りとなります。

電子黒板 / 授業支援ソフト / 遠隔授業支援

授業例(算数)

授業例(理科)

授業例(社会)

遠隔教育支援ソリューション

FAQ / システム構成と仕様

xSync Classroom

バイシンク 授業支援ソフト

xSync Classroom (バイシンク クラブルーム) は、各自治体の整備状況に応じた活用ができる授業支援ソフトです。児童生徒が思考を止めず、1人ひとりが自分の考えを表現し、さらに、他者の考えに触れることで、より思考を深める活動を支援します。

整備状況に応じた活用

各自治体の整備状況・計画に対応

xSync Classroom は各種大型提示装置に対応しています。指導者用端末がタブレット利用であることも想定し、指導者用のインターフェイスはスマートフォンのようにシンプルで、また、感覚的操作が可能です。



便利な機能

児童生徒に気づきを促す魅せる機能

画面の複製・拡張 (投影禁止) 表示の切り替えが1ボタンできたり、静止画や動画などの各データをカードのように組み合わせて比較表示ができたりと、児童生徒に気づきを促すしかけづくりができます。



児童生徒機と連携時の便利機能

xSync Classroom は児童生徒機を利用の際、各種便利な機能をご用意しています。



	型番	商品名称	価格
指導者用	PXL-CLS-SVAN	xSync Classroom指導者用校内フリーライセンス ^(※)	オープン価格
学習者用 (Windows/iOS)	PXL-CLS-CL50	xSync Classroom学習者用ライセンス50 ^(※)	
	PXL-CLS-CLFRE	xSync Classroom学習者用校内フリーライセンス ^(※)	

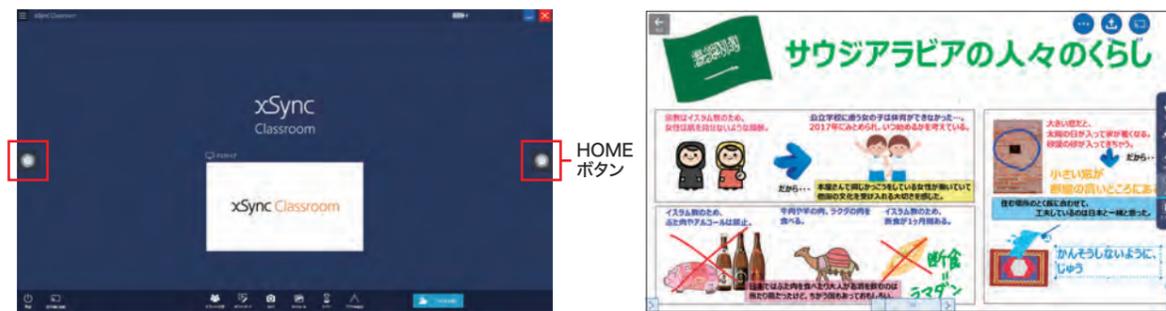
※5年間の保守がパッケージとして含まれます。

	型番	商品名称	契約期間	価格
遠隔授業支援	PXL-CLS-PASS	xSync Prime Academic サービス 初期費	—	オープン価格
	PXL-CLS-PASA	xSync Prime Academic サービス 1IDライセンス/年	1年間	
	PXL-CLS-PASU	xSync Prime Academic サービス 設定変更	—	

授業時の使いやすさ

誰でも操作できるシンプルなデザイン

指導者用・学習者用の操作画面は、機器操作の苦手な先生や低学年の児童でも操作がしやすいシンプルなデザインです。また、それぞれ授業で使用頻度が高い機能のボタンを見えやすい位置に配置しています。また、指導者側には「HOMEボタン」があり、スマートフォンのようにホーム画面や利用している機能間の移動をシームレスに行うことができます。

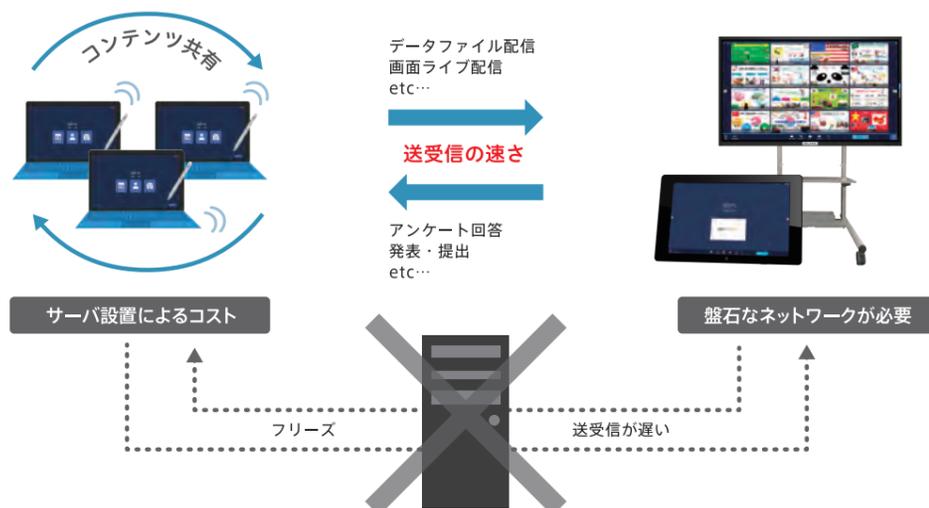


▲指導者用ホーム画面

▲学習者用操作画面例 (Windows版)

サーバ設置不要で速いデータ送受信

サーバ設置不要のため、配信データ等端末間の送受信が円滑に行われ、授業の流れを止めません。また、ローカル環境での利用が可能のため、校外学習の際も活用いただけます。



子どもたちの考え方を「xSync Board」で比較する

ここでは算数の授業を例に、xSync Boardを活用し、子どもたちの考えを比較することで、多様な考えに触れさせ、台形の面積を求める学習について紹介します。

算数の授業で台形の面積を求める



※撮影協力:東京書籍株式会社様(写真の教材:小学校 デジタル教科書 新編 新しい算数5年)

授業の進め方



①

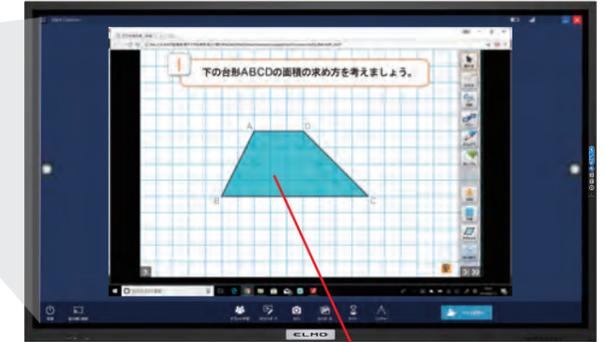


xSync Boardに算数の問題を提示します

先生はデジタル教科書や自作の教材をxSync Boardに提示し、学習課題について説明します。

先生

視覚的に大きく提示することで関心を引きつけやすいです。



大きな画面でみやすいね



拡大コピーの準備やマグネットで黒板に貼り付ける時間が短縮されるため、その分子どもたちの思考の時間に充てられます

②



子どもたちは配布されたワークシートに自分の考えを書き込みます

子どもたち1人ひとりにワークシートを配布し、各自の考えを書き込みます。先生は机間指導中に、子どもたちのワークシートをタブレットで撮影します。



先生

前に出て黒板に書かせる時間を短縮します。



先生が私のも撮ってくれたよ

影が映り込まないように斜めから撮影してもオートで台形補正ができます→P.13

カメラ機能で簡単に撮影できます

③



撮影した子どもたちの考えを xSync Boardに提示して比較します

机間指導中に先生が撮影したワークシートをxSync Boardに提示し、児童の考えを比較。



ともだちのノートとならべるとわかりやすいね

他者の解答を視覚的に比較することで、子どもたちは多様な考え方があることを理解できます



写真の大きさを自在に変えられるため、どの考えが発表者のものか簡単に示すことができます

④



先生がポイントをxSync Boardに加筆して解説します。

子どもたちの意見をもとに、先生はペン機能でxSync Boardに加筆しながら台形の面積の求め方について解説し、板書でまとめます。

先生

指やペンで画面に直接書き込みができます。



書いたり消したりがボタン操作で簡単にできるのでスムーズに授業を進行できます

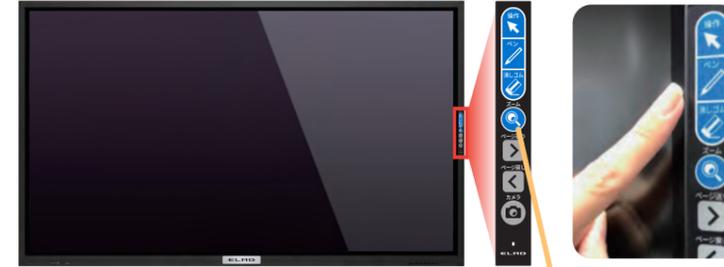
大画面のため「書き込みながら説明する」これまでの自然なスタイルで授業ができます

みんなの前で発表したい



授業の様々な場面で役立つ「xSync Board」の機能

PCの操作が苦手でも直感的に操作



「書く」「消す」「拡大する」など、使用頻度の高い機能を、ボタン化した「イージーコントローラー」を画面の脇に配置しており、簡単に操作ができます。また、「イージーコントローラー」は実物投影机と連携しており、画面を行き来することなく1ボタンで起動できます。

授業でよく使う機能のボタンを集約しているので、円滑に活用することができます

QRコード読み取り機能

教科書等に掲載されているQRコードを撮影すると、QRコードに記載されているURLをブラウザにて表示することができます。



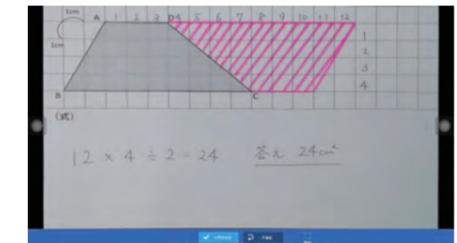
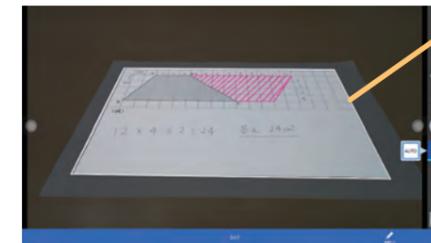
タブレットで斜めに撮影する際の台形補正



子どもたちが記入したワークシートをタブレット端末で斜めに撮影する際、オートで台形を補正することができます。

タブレット端末での撮影は台形になりやすいので...

オートで補正されます



タイマーなど学習に適した提示機能

子どもたちが問題に取り組んだり、ペアワーク・グループワークを行う際に、残り時間を表示するなど、授業の様々な場面で活用できる機能があります。



各班が異なる実験を行い「xSync Classroom」 で情報を集約し、気づきを促す

ここでは理科の授業を例に、グループでタブレット端末を使って、振り子の運動の実験を行い、各班の実験結果から振り子のきまりについて考えさせます。

理科の授業で振り子のきまりを理解する



授業の進め方



①



xSync Board に実験器具を映し出します

xSync Board と連携した実物投影机を利用して、実験装置の組み立て方や各班の役割を説明します。



気をつけるところを
書き込んで
教えてくれるから
わかりやすいね



xSync Board と実物投影机
の組み合わせは、様々な教
科で活用が進みます

先生

xSync Board に書き込みながら提示することで、実験器具の使い方を分かりやすく説明できます。

②



xSync Classroom の「グループワーク」機能で各班に それぞれのワークシートを配布し、実験を行います

先生は、おもりの重さ/振り子の長さ/振れ幅の3つのワークシートをそれぞれ該当の班に配布し、子どもたちは実験を行い、記録します。



配信先指定



みんなで
実験スタートだ

タブレットと組み合わせたときに便利な「xSync Classroom」の機能

③



各グループの実験結果を先生に提出します

グループ毎の実験結果のグラフを、先生用に提出します。

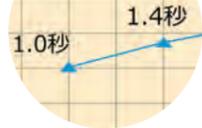
みんなのも一緒に見えるからわかりやすいね



グループワーク機能で、グループ毎に色分けすることができ、視覚的にどの条件の実験かが分かります



1画面に最大40分割表示できます



④

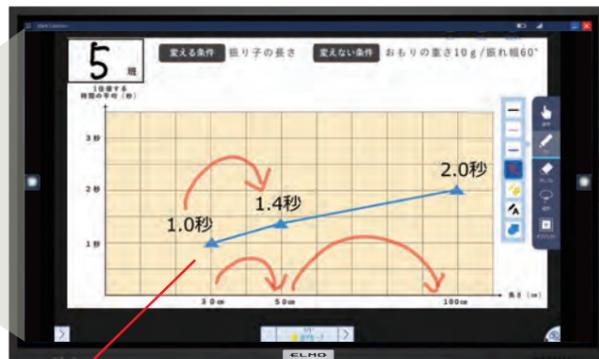


各グループの結果を発表させ、また、比較することで子どもたちに気づきを促します

各グループの実験結果を共有し、振り子が1往復する時間に関する条件について考えさせ、まとめます。

先生

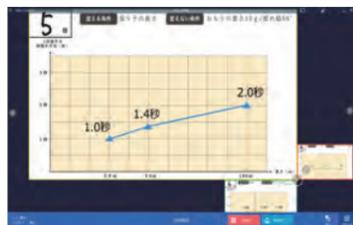
子どもたちが自由に発表できないように「発表許可」機能があります。



レーザーペンでポイントを示しながら、子どもたちは自席から発表できます

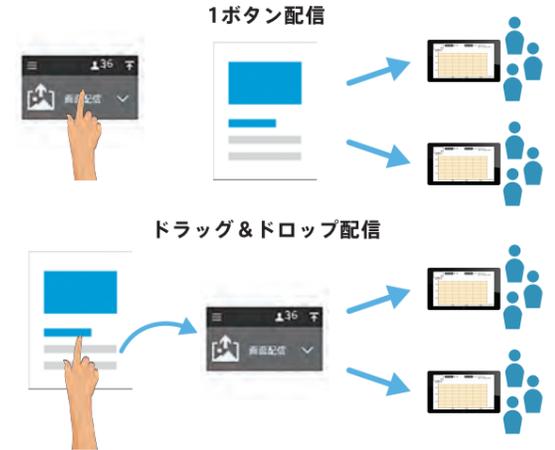
先生

情報整理のために比較提示し、まとめます。



1ボタンで子どもたちのタブレットへ画面を配信

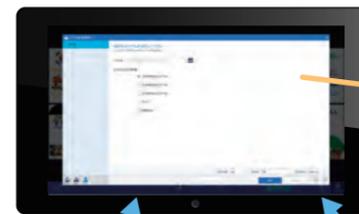
直観的な操作で画面の配信ができるので、テンポよく授業を進めることができます



提示している教材は1ボタンで簡単に画面配信ができます。また、ドラッグ&ドロップでファイル送信を行うこともできます。グループにより、配布資料を変えたいときも、グループを選択して配信することもできます。

動画やファイルを保存して次回の授業でふり返り

先生用タブレット



提出データ以外にも、配信したデータや子どもたちが保存したデータを先生は回収することができます

「回収機能」を使うことで、各グループが撮影した実験の動画や、結果を書き込んだグラフのファイルを先生がまとめて保存することができます。

次回の授業では、子どもたちが実際に実験で撮影した動画や実験結果をxSync Boardに提示し、前時のふり返りとして活用することができます。

静止画だけでなく、動画も提出可能です

アンケートで子どもたちの意見を瞬時に確認

アンケート機能を用いれば子どもたちの意見を瞬時に把握し、またクラスに共有ができます。リアルタイムでデータは変化するため、他の人の意見を聞いて意見を変更してもすぐに反映されます。

アンケート①



アンケート②



調べた内容を「xSync Classroom」で共有し、 日本との共通点・相違点を知る

ここでは社会の授業を例に、日本とつながりの深い国々について調べた内容をまとめ、
班で共有し他国について理解する学習を紹介します。

社会の授業で異なる文化や習慣を理解し合う大切さを考える



授業の進め方

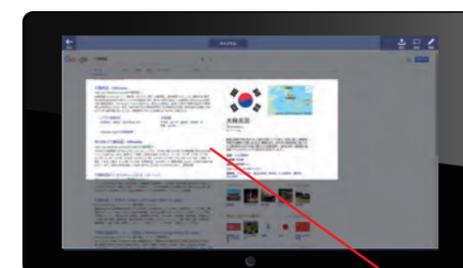
- ① 各自がインターネットで調べてまとめる
- ② 先生は机間指導でフォロー
- ③ 班内で調べたことを発表し、共有する
- ④ 共に生きていくために大切なことを考え、発表する

①



子どもたちは自分が選んだ国について
本やインターネットを用いて調べます

班の中で役割分担し、日本と関係の深い4つの国について、本やインターネットを使って調べ学習をします。



検索したページで必要な場所は、簡単にキャプチャ画像を撮ることができます



先生

子どもたちの意識を黒板等に集中させる際に便利な画面ロックや操作ロック等、各種制御機能があります。



みんなに
みせたいものを
どんどん
あつめるぞ

②



先生は机間指導をしながら、必要に応じて子どもたちのフォローをします

子どもたちの進捗状況は、電子黒板や指導者用端末で確認できるので、先生はフォローが必要な児童生徒のところに行って指導をすることができます。



電子黒板や指導者用端末に子どもたちの操作画面が表示できるので、進捗状況を確認しながらフォローができます

先生

巡回機能で全員の進捗状況を確認

子どもたち

机間指導をしている先生に、質問したりアドバイスをもらうことができます。



3



班内で調べたことを発表し 自分のノートを共有

グループ内で自分が調べた国について「xSync Classroom」のノートにまとめ、発表します。また、共有機能で自分のノートをグループに共有します。→P21



ノートや写真、動画を並べ替えてプレゼンストーリーを作成し、効果的な発表ができます



動画もあるからとてもよくわかるね

4



友だちの発表内容や共有されたノートを確認しながら考え、発表し合います

発表内容や共有されたノートを確認しながら、外国の人々と共に生きていくために大切なことを考え、意見をノートに書き、先生に提出し発表します。

各自で作成したノートを
xSync Boardに一覧表示
できます



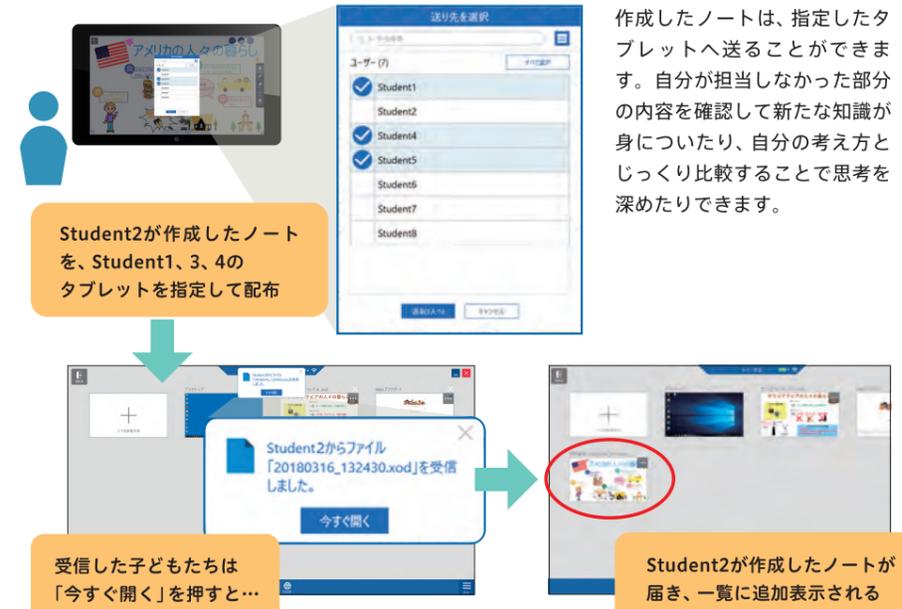
▲静止画の比較ができます。動画の比較も可能です。



ともだちのもいっしょにみえるからいろんなことがわかるね

1人1台タブレットを活用するとき便利な「xSync Classroom」の機能

グループの友達へ自分が作成したノートを共有



クラウドに保存して家庭学習にも活用



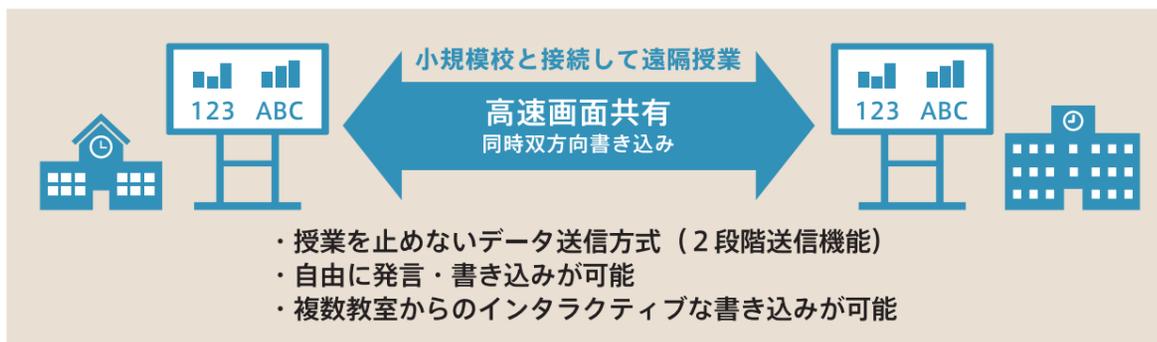
アカウントIDに対応した授業データを、直接クラウドサーバに保存することで、各端末の保存容量を確保することができます。また、持ち帰り学習時に、授業と同じ教材を見ることができます。

遠隔教育支援サービス

xSync Prime Academic

高い伝達性能 画面共有・同時書き込みで 遠隔の学び合いを実現

xSync Prime Academic (バイシンク プライム アカデミック) は、外国語活動やプログラミング教育等離れた複数の学校を繋いでの授業を実現できるほか、教員研修や校長会を遠隔で行うなど様々なシーンで活用できます。



特長

1. 簡単操作



- 1 ボタンで接続先校へ画面共有
- リアルタイムのデスクトップ共有

2. 2カメラ対応



- 先生目線、児童生徒目線の2つのカメラを1つのディスプレイで同時表示・配信

3. マルチブラウザ対応

- Microsoft Edge、Google Chrome、Internet Explorerに対応

4. 高音質

- 業界最高水準の音声コーデック採用
- デジタル教材の音声共有

5. リモートコントロール

- ICT支援員やICTに詳しい先生が遠隔で接続先のサポートが可能

教育委員会・学校のための遠隔教育・遠隔研修等の相談窓口サービス [URL https://www.elmo.co.jp/xsync/support/contact.html](https://www.elmo.co.jp/xsync/support/contact.html)

離れた学校を繋いで、同じ教室内にいるかのような遠隔授業を実施

過疎地域の小規模校と適正規模校を繋いだ遠隔授業を行うことで、小規模校の教育を充実させ、ICTを活用した協働的な学びをより促進します。

よくある課題

小規模校は多様な考え方に触れにくい

少人数では多様な意見に触れて学習する機会が少ない。また、幼少の頃から顔見知りの、限られた友人だけとの交流ではコミュニケーション能力を養う機会が少なく、中学進学後友人と対話する際にギャップが生じやすい。

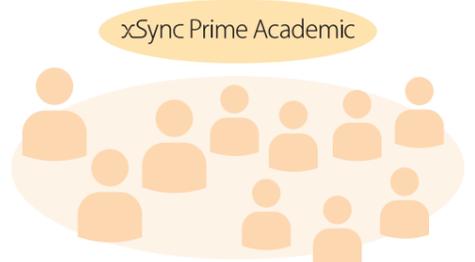


小規模校では多様な意見に触れる機会が少ない

こう解決!

同じ教室にいる感覚で遠隔合同授業

xSync Prime Academicで小規模校と繋いで遠隔授業を行うことで、距離を感じさせない合同授業を実現。小規模校の児童生徒も多様な考え方に触れることができ、中学入学前からお互いを知ること、入学後のギャップを減らすことができる。



距離を感じることなく一体感のある遠隔授業

メリット

- ① 小規模校でも多様な意見に触れる学習機会の創出ができる
- ② 相手に分かりやすく伝える工夫をするようになり、「表現力」の育成につながる
- ③ 限られた友だち以外の児童生徒と交流ができる

電子黒板 / 授業支援ソフト
遠隔授業支援

授業例(算数)

授業例(理科)

授業例(社会)

遠隔教育支援ソリューション

FAQ / システム構成と仕様

外国語活動やプログラミング教育における遠隔授業を実施

複数校で同時にALTや外部講師による遠隔授業を行えば、ALTの人数を確保できないエリアでの外国語活動や、指導方法に悩むプログラミング教育において、質の高い学習機会の均一化が図れます。

よくある課題

ALTの確保やプログラミング教育での指導方法が難しい

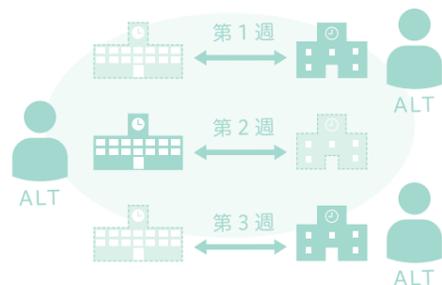
2020年より、外国語活動とプログラミング教育の必修化になるが、ALTは限られた人数しか確保できなかったり、実際にどのように授業を行えばよいか分からなかったりする。



こう解決!

複数校が同時に授業を受けられる!

ある学校の授業をリアルタイムで複数校と繋げて、遠隔授業を実施する。人員を確保する必要がなくなるだけでなく、授業を共有することで学習の機会や指導内容のばらつきを防止できる。



メリット

- ① 各校質の高い授業を均一的に受けられる
- ② 外部講師による授業を受けられる
- ③ ALTに充てる人件費を削減できる
- ④ 他校の児童生徒と対話することで多様な意見に触れられる

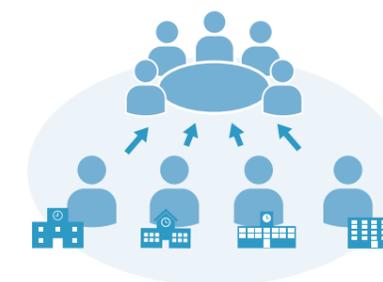
校長会、教育センターの研修などを遠隔会議で実施

校外で開催される会議、研修は、移動時間が負担になり、不在中の対応も必要。遠隔会議があれば移動時間はゼロ、先生方の多忙解消に。

よくある課題

会議参加のために出張しなければならない

研修で教職員が出張するたび、時間割変更や自習などの対応が必要になる。また、自身も移動や時間外労働など業務負担がかかる。緊急事態が起きた場合、管理職が不在で対応が遅くなる事態が生じかねない。



こう解決!

学校にいながら会議や研修に参加できるように!

遠隔会議を利用することで、外出せずに会議や研修に参加できるため、不在時の対応を考える機会が減る。また、移動の負担がない分、教職員の業務負担や交通費などのコストも削減できる。



メリット

- ① 教職員が移動する負担がなくなる
- ② 移動のための交通費や時間がかからない
- ③ 他の仕事に充てられる時間が増える
- ④ 時間割変更や自習といった不在時の対応が減る

ICT支援員が遠隔から各校の相談に乗り、先生1人ひとりの「できること」を増やす

ICT整備が進む一方、現場の先生方のスキルは個人毎に異なるため、ICT支援員の配置が求められています。配置人数が限られていてもより多くの支援を受けられ、各校での教育の情報化を進めることができます。

よくある課題

巡回型の支援員だと相談できる機会が少ない

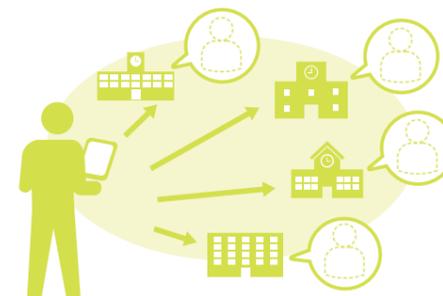
各校常駐であれば、ICT支援員にいつでも相談できるが、予算の都合上各校常駐型は難しく、巡回型で配置。もっと支援員に相談できる機会を増やしたい。



こう解決!

ICT支援員が遠隔から先生方の支援をする

ICT支援員が自校に来ない日でも、必要なタイミングでICTを活用した授業設計や教材作成の助言を受けることができる。相談できる機会が増えることで、より授業でのICT活用が促進される。



メリット

- ① ICT支援員はどこからでも支援ができるようになる
- ② 先生は支援員が自校に来ない日でも相談できる
- ③ 各校への訪問回数の偏りを減らせる
- ④ 各校の教育の情報化がより促進される

災害時には災害対策本部と遠隔会議で情報共有

災害時には避難所になることが多い小中学校。普段は教育委員会との連絡手段として、災害時には災害対策本部との連絡手段として利用することができ、円滑に情報共有が行えます。

よくある課題

災害時に具体的な情報共有が難しい

災害時、災害対策本部との情報共有手段は限られており、円滑で正確な情報が伝わりづらい。また、情報のやり取りに時間がかかり、避難者に不安が広がる。



こう解決!

遠隔会議で素早く正確に災害情報を共有!

災害対策本部や消防・警察などとリアルタイムで情報共有ができ、周囲の状況等映像を使った正確・迅速な情報のやり取りが可能になる。日頃から遠隔で授業や会議を行える環境を用意しておけば、災害発生時も安心。



メリット

- ① 各機関との情報共有がリアルタイムに行える
- ② 映像でより正確な状況を伝えられる
- ③ 「情報が入ってこない不安」を防げる
- ④ 電話回線の制限時なども繋がりがやすい

FAQ

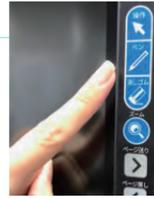
xSync Board

Q 大型TV・プロジェクタと比べ、電子黒板はどのようなメリットがありますか？

A 電子黒板は、黒板と同じように書き込みができ、子どもたちの表情を見ながら授業展開ができるため、授業者の従来のスタイルを崩さずに利用でき、授業でのICT活用がより促進します。また、xSync Boardはパネルサイズやスタンドのラインナップが豊富なため、自治体のニーズに合わせた導入が可能です。そのため、全国で約40,000台(2019年8月現在)の導入実績があります。

Q 機械操作が苦手ですが、利用できますか？

A 専用ペンだけでなく指での操作も可能なタッチパネルのため、直観的に操作ができます。また、書く・消す・拡大する等授業で利用する頻度が高い機能はディスプレイ横についている物理操作ボタン(イージーコントローラー)によって操作ができます。そのため、アナログ操作でデジタルを扱えるため、苦手な先生方でも安心してご利用いただけます。



Q ペン機能(書く・消す・拡大する)以外の事はできますか？

A xSync Boardはペン機能以外にも、書画カメラと連携して大きく提示したり、カメラ機能で児童の考えを提示し比較したり、保存機能で前時のふり返りをしたり等、様々な活用ができます。また、他社アプリケーションやお気に入りのURLを登録*することができ、より円滑なICT活用ができます。

xSync Classroom

Q 児童生徒機に関してWindows端末以外にiPadも整備しています。混在していても利用できますか？

A OSが混在していてもご利用いただけます。同じソフトで授業が行えるため、学校現場での活用促進に大変便利です。

Q サーバ設置は必要ですか？

A サーバ設置は不要のため、導入コストを抑えることができます。サーバに依存することがないため、ローカル環境下でも利用できます。また、端末間の送受信が速いため、限られた授業時間の中で時間を有効に活用いただくことができます。さらに、ネットワーク整備が中々進められない自治体様でも無線LANルーターをご用意いただければ、簡単にタブレットを活用した授業ができます。

Q 既に他の大型提示装置を整備しています。xSync ClassroomはxSync Boardを導入しないと利用できませんか？

A xSync Classroomは大型TVやプロジェクタ等他の大型提示装置との組み合わせでも活用いただけます。授業者がタブレットで操作する場合も考慮に入れ、デザインはスマートフォンを利用しているようにシンプルなつくりしております。
*新たに大型提示装置の整備計画がございます場合は、xSync Boardとセットでご導入いただく方が、機器操作の苦手な先生方からも好評のイージーコントローラーと互換性があるため、授業でのICT活用が進みやすくなります。



xSync Prime Academic

Q サーバ設置は必要ですか？

A クラウドサーバのため、各自治体に設置する必要はございません。また、xSync Prime Academicを導入している他自治体様との接続もできます。

Q xSync Boardを導入しないと利用できませんか？

A 授業の際は、書き込み機能ができるxSync Boardや他社電子黒板等があると大変便利ですが、自治体様毎の予算に合わせてタッチパネル式のパソコンやタブレットでも十分ご利用いただけます。また、iOSやAndroidにも対応しているため、校外学習等の場面でもご利用いただけます。*インターネットの環境が必要です。

Q 最低帯域はどの位ですか？

A 256Kbps～ご利用いただけます。xSync Prime Academicは、通信技術と音声技術が優れており、文部科学省による「人口減少社会におけるICTの活用による教育の質の維持向上に係る実証事業」にて採択いただいたシステムと同じ遠隔授業支援システムです。
*実証事業では「xSync Prime Collaboration」が採択されました。名称は異なりますが同等のシステムでより教育現場でご利用いただきやすいように開発された製品が「xSync Prime Academic」となります。

サポート体制

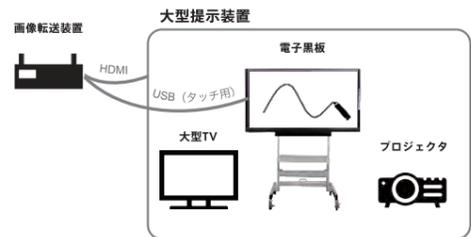
5年間または1年間の下記保守サポートがごございます。

- ① 24時間365日対応のコールセンター
電話：0570-077-277 Email: xsync-help@elmo.jp
※土日祭日・17時以降は、電話受付のみとなり後日対応となります。
- ② ソフトウェアのバージョンアップ
xSync BoardのペンソフトやxSync Classroomにおいて機能が追加される場合、5年間配信されるアップデート用のプログラムをダウンロードいただけます。また、xSync Prime Academicはクラウドサーバのため、1年単位でご契約いただいている期間は、自動でアップデートされます。

教育委員会・学校のための 遠隔教育・遠隔研修等の相談窓口サービス



システム構成例 Stage2,3,4 *指導者用端末は持ち歩きxSync Classroom



ソフトウェア仕様

xSync Classroom 指導者用端末	
CPU	Atom x5-Z8330 相当以上 遠隔授業利用時はIntel® Core i5以上 (推奨)
メモリ	2GB以上 遠隔授業利用時は4GB以上
空容量	4GB以上の空きスペース
OS	Windows8.1/10
xSync Classroom 学習者用端末対応OS	
OS	Windows8.1/10、iOS11以降*

*iPadのみ対応

画像転送装置

ミラーリング機能対応機種	
WIVIA4	株式会社内田洋行
SX-ND-4370WAN	サイレックス・テクノロジー株式会社
ACERA 950	株式会社フルノシステムズ

・Miracast利用時のタッチ対応機種につきましては、別途お問い合わせください
 ・Miracastを除くタッチ対応機種につきましては、各製造会社にお問い合わせください

システム構成例 xSync Prime Academic



動作環境

Windows端末	
CPU	Core2Duo プロセッサ1.86Ghz以上 (推奨) Intel® Core i5 プロセッサ以上
メモリ*	1GB以上 (推奨) 4GB以上
空容量	512MB以上の空きスペース インストール時に必要な空きスペース
OS	Windows8.1/10
iOS / Android端末	
OS	iOS 7以上 / Android 6以上
端末	iPad2以降 / iPad mini以降 / iPhone4S以降

*併用するアプリケーションやウイルス対策ソフト、UCGA以上の解像度、ご使用の機能の設定や機能同時使用時には、増強が必要な場合があります。

通信環境	
ネットワーク	TCP/IP (固定・DCHP) IPv4 使用ポート: 80 (http)・443 (https)

マイクスピーカー / カメラ

検証済機器	
YVC-1000 (マイクスピーカー)	ヤマハ株式会社
YVC-MIC1000EX (拡張マイク)	ヤマハ株式会社
C930e (Webカメラ)	株式会社ロジクール
VC-B30U (PTZカメラ)*	Lumens Digital Optics Inc.

*HDリモートカメラ(Lumens): 遠隔リモート操作が可能です。

参考資料 xSync Classroom機能一覧例

指導者用アプリ機能	
アプリホーム画面	ホームボタン 先生機の電源管理 画像転送装置への簡単アクセス ファイルを開く タスクの結合 デスクトップ操作 ツールバー、コントロール メニューボタンのカスタマイズ
児童生徒端末との連携	所属を選択して接続 簡易接続 名前表示のON/OFF 分割レイアウトの変更 比較(最大比較数:1画面40分割表示) 名前またはグループ毎に並び替え スライドショー 児童生徒端末の制御 グループワーク メッセージ アンケート 画面配信 データファイル・URL配信 配信先指定 タイマー連動配信 画面の一部を切り取り配信 データ回収 印刷 パスワード設定 教材箱のネットワークフォルダ指定 配信履歴、回収履歴の保管期間・場所の設定 配信回収履歴の保存階層の設定
ホワイトボード	背景の選択 スライドショー 分割表示 文字認識 画像・動画の貼り付け 素材集からの貼り付け 印刷 テキストの追加 他タスクページの追加 保存
カメラ	写真撮影 動画撮影 QRコード読み込み インターバル撮影 180度回転 オート台形補正 明るさ調整 グリッド表示 撮影時の描画 描画モード(書き込みを含めた)撮影 児童生徒機への各種配信 カメラロールへのワンタッチの移動 写真・動画データの比較*混合可 印刷 テキストの追加 他タスクページの追加 保存 スライドショー 各種ペンツール シエード タイマー お気に入りの任意時間のタイマー登録 緊急時の一斉通知 画面メモ、領域キャプチャ 画面メモダイレクト保存 画面録画 お気に入りアプリ/URLの登録 データ保存 アプリ起動状態の保存
カメラロール	写真・動画データの比較*混合可 印刷 テキストの追加 他タスクページの追加 保存 スライドショー 各種ペンツール シエード タイマー お気に入りの任意時間のタイマー登録 緊急時の一斉通知 画面メモ、領域キャプチャ 画面メモダイレクト保存 画面録画 お気に入りアプリ/URLの登録 データ保存 アプリ起動状態の保存
その他	※サイレントインストールができます。

児童生徒機用アプリ機能(Windows版)	
接続	一斉招集 AD対応 ログイン名称設定 ログイン名表示 IPアドレス入力またはPC名指定接続 ノート台紙選択
ノート	図形 文字認識ペン 指示ペン(ポインター) 写真・動画の貼り付け キャプチャ画像の貼り付け 素材集 印刷 テキストオブジェクト
ブラウザ	WEBブラウザ 画面メモダイレクト保存 ブラウザのペン描画
先生からの教材共有	画像・データファイルの受信 教材箱 先生画面のキャプチャ
発表・提出・回収・端末間共有	提出 ダイレクトセンディング カメラロールからの提出 発表 ストーリーボード 共有 回収 デスクトップ上でのデータ提出
制御・管理機能	巡回 ライブ配信 画面ロック 操作ロック 終了 先生機からの各種機能制限 ホストでのバッテリー/電波状態 タスクの整理 比較 ローカル保存*フォルダ整理ができます 共有ドライブ デスクトップ操作 カメラ 動画 QRコード読み込み アンケート グループワーク 保存場所の選択 下書き機能 メッセージ機能
その他	※サイレントインストールができます。

児童生徒機用アプリ機能(iOS版)	
接続	ログイン名称設定 ログイン名表示 IPアドレス入力による接続 ノート台紙選択
ノート	図形 指示ペン(ポインター) 写真・動画の貼り付け キャプチャ画像の貼り付け 素材集 印刷 テキストオブジェクト
ブラウザ	WEBブラウザ 画面メモダイレクト保存 ブラウザのペン描画
先生からの教材共有	画像・データファイルの受信 教材箱 先生画面のキャプチャ
発表・提出・回収・端末間共有	提出 ダイレクトセンディング 発表 ストーリーボード 共有 回収 巡回 ライブ配信 画面ロック 操作ロック 終了 先生機からの各種機能制限 ホストでのバッテリー/電波状態 タスクの整理 ローカル保存*フォルダ整理ができます 共有ドライブ カメラ 動画 アンケート グループワーク 保存場所の選択 下書き機能 メッセージ機能
制御・管理機能	巡回 ライブ配信 画面ロック 操作ロック 終了 先生機からの各種機能制限 ホストでのバッテリー/電波状態 タスクの整理 ローカル保存*フォルダ整理ができます 共有ドライブ カメラ 動画 QRコード読み込み アンケート グループワーク 保存場所の選択 下書き機能 メッセージ機能
その他	※サイレントインストールができます。

*順次バージョンアップしておりますので、最新情報に関してはお問い合わせください。

電子黒板 / 授業支援ソフト

授業例(算数)

授業例(理科)

授業例(社会)

遠隔教育支援ソリューション

FAQ / システム構成と仕様